



第734号
平成29年3月 日

方面總監統率方針
任務完遂
方面總監要望事項
使命の自覚
錬磨即応
地域との連携

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面總監部広報室

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/>

方面隊指揮所演習

方面隊の作戦遂行能力を向上

A-C P X

方面隊は、2月26日から3月2日までの間、札幌駐屯地及び各師旅団司令部所在駐屯地において方面隊指揮所演習を実施した。

本演習は、方面隊の作戦遂行能力の向上を目的として、本格着上陸侵攻対処における指揮幕僚活動を演練し、方面總監部各師旅団司令部、方面總監直轄部隊等から、約2千4百名が参加した。

また、本演習の実施に当たり予備自衛官17名を訓練召集するとともに、小平学校及び中央情報隊からの支援を受け、より実践的な状況を作義とした統裁を実施せ

「部隊として一致団結し、士気高らかに行動せよ」の2点を要望した。さらに、「各部隊、各隊員が、全力をもって本演習に取り組む事を強く要望する」と訓示した。

また、本演習に併せて北部方面情報隊訓練検閲を実施し「情報隊長の状況判断」「情報収集調整所における幕僚活動」について、評価してその進歩向上を促した。

して行った。

本演習の開始に伴い統裁官(山崎陸将)は、演習部隊に対し「使命を自覚し任務を完遂せよ」「上下左右一体となって作戦を遂行せよ」の2点を要望し、統裁部に対しては「演習目的の達成を第一義とした統裁を実施せ

よ」

適時適切な幕僚活動を行い、所期の成果を収め終了した。



作戦会議における總監指導



情報作戦会同



民事調整所における活動



統裁部による状況付与



第7師団指揮所における火力調整

日米両指揮官が道東地区を視察 在日米陸軍司令官来道



儀じょうを受けるパスカレット中将



冬季装備品の展示説明

方面隊は、3月10日及び11日の2日間、道東地区において、日米共同部隊訪問を支援した。今回の日米共同部隊訪

問では、陸上幕僚長岡部陸将と在日米陸軍司令官ジェームズ・F・パスカレット陸軍中將の日米両指揮官が、道東地区を

訪れた。美幌駐屯地における視察においては、第6普通科連隊による儀じょう、懇談、概要説明、装備品

展示及び軽雪上車の体験試乗を行った。また、流水や北方民族博物館など地域の自然や文化施設を研修した。

今回の訪問により、ロシアと国境を接する我が国の最前線の状況を把握するとともに、日米相互の理解を促進した。



左：第4代CSM高橋准尉 右：第5代CSM遠藤准尉



總監を中心に全員で記念撮影

平成29年3月14日、札幌駐屯地体育館において、北部方面隊最先任上級曹長交代式が行われた。平成26年8月より第4代北部方面隊最先任上級曹長に上番した高橋准尉は、指揮官を補佐する第三の柱としての最先任の役割を深く認識し、方面管内に所在する37箇所全ての駐分屯地を訪問し、隊員との懇談等を通じ、總監の意図を自分の言葉で分かりやすくかみ砕いて伝え、熱意と情熱を持って隊員と接する等、上意下達、下意上達に邁進した。

また、自らが准曹士の目標となるべく、自己の言動を厳しく律し、「高橋最先任に相談すればどうにかなる」と多くの准曹士から頼られる存在であった。總監は、第5代北部方面隊最先任上級曹長に上番する遠藤准尉に対し「自分の地位・役割をよく考え、自分の職を天命・天職であると思え、自らの信念に基づき、自信を持って職務に当たってもらいたい。そして、准曹士の目標となるような光り輝く存在、そして相談しやすい存在となってもらいたい」と述べるとともに、「精強な方面隊は、我々准曹士が創るといふ気概を持って、各部隊の最先任・最先任上級曹長が互いに報告・連絡・相談を行い、上下左右の連携を図り、精強な北部方面隊の陸曹団の育成に邁進することを期待する」と訓示した。

北部方面隊最先任上級曹長交代式

第40期初級陸曹特技課程 「准看護師」卒業式

自衛隊札幌病院は、3月9日、北部方面衛生隊長、卒業生配属先部隊長、北部方面総監部医務官等多数の関係者の臨席の下、第40期初級陸曹特技課程「准看護師」22名の卒業式を実施した。

病院長は「プロのプライドを持つて」「仁の心を磨け」の2点を要望し、さらに「日進月歩の医学に追いつくべく、生涯にわたってたゆまぬ研鑽を続ける事」、「痛み苦しみを自分のものとして共感できる心を磨く事」を強調した。

また、准看護学院長(近藤1佐)は、式辞において「悲しみ、虚しさ、そして悔しさが自分を成長させてくれる。研鑽を積む中で挫折の数だけ強く、そして優しくなれることを信じて頑張るってほしい」と述べた。

約2年間の教育を修了した卒業生達は、以後第一線救護要員として、献身の心を忘れず、それぞれの配属部隊で活躍することを誓い、自らの目標に向かって旅立って行った。



来賓及び病院関係者との記念撮影



病院長式辞



教官・助教による学生見送り



卒業証書授与

北部方面警務隊競技会

北部方面警務隊は、2月15日及び16日の2日間、札幌駐屯地体育館において、「平成28年度北部方面警務隊競技会」を実施した。

本競技会は、捜査能力の向上を図るとともに、団結の強化及び隊員の士気高揚を目的として実施し、北部方面警務隊隷下の4個地区警務隊と1個保安警務中隊が参加し、鑑識競技、識能試験及び逮捕術競技の3種目を競い合った。

鑑識競技は、より実際的な犯罪現場を再現するため管内居室を模したブース内で、各部隊から選出された鑑識要員5名が、犯人逮捕に結びつく「指紋」「足跡」の検出・採証、写真撮影等の鑑識技術について競い合い、北海道警察本部刑事部鑑識課の協力を得て、審査・採点を実施した。各鑑識要員は床に這いつくばり、足跡や指紋を検索するなど、髪の毛一本も見落とさないように現場観察して、わずかな証拠でも採取しようとする姿勢には目を見張るものがあり、特に鑑識能力が高かった第120地区警務隊が優勝した。

識能試験では、これまで学科試験形式であったものを、実際的な想定での実技試験に変更し、各部隊から選出された捜査要員5名が、現行犯逮捕の適切な状況判断、正確な逮捕手続き及び司法書類作成能力を競った。静まり返った会場内には、緊張感漂う捜査要員のやり取りが放送された。本試験では、的確に状況を掌握するとともに、



熱戦を繰り広げる選手達(逮捕術競技)

侵入者を確認し、速やかに逃走防止を図り、適切な現行犯逮捕手続き等の必要な処置を実施して、高い評価を受けた第119地区警務隊が優勝した。

逮捕術競技は犯人が凶器を所持していた場合などを想定し「徒手対徒手」「警棒対警棒」「警棒(長さ60cm)対長物(長さ125cm)」の3試合を各部隊の総当たり方式で行った。全選手が最後の1秒まで全力を尽くす熱戦が繰り広げられ、特に平成26年度全国警務隊競技会の北方代表選手であった、第119地区警務隊齋藤2曹対第301保安警務中隊西3曹の試合は、手に汗握る攻防戦となり会場を盛り上げ、熱戦の結果、第301保安警務中隊が優勝した。

各競技の結果、接戦を制した第120地区警務隊が総合優勝を果たした。協力を受けた道警鑑識課から「検出要領が緻密で警務隊の鑑識レベルの高さに驚いた」等の高い評価を受け、競技会は終了した。

また、札幌地方協力本部と連携し、競技会に入



微細な証拠も見逃さない執念で(鑑識競技)

隊予定者など、多数の見学者を招き、見学者からは、「入隊後は警務官を目指す」と、競技会を通して募集広報に貢献し、目指して頑張りたい」との声もあり、競技会を通して募集広報に貢献し

第77回北部方面音楽隊定期演奏会

素晴らしい演奏で多くの観客を魅了

北部方面音楽隊は、3月3日、札幌コンサートホールにおいて、第77回定期演奏会を実施した。

演奏会は、2部構成で行われ、平日の夜にも関わらず、約1800名の音楽を愛好される方々でホールは埋め尽くされ、素晴らしい演奏に会場が



多くの観客を魅了した第77回定期演奏会



総評を述べる崎田氏

らは、割れんばかりの拍手がなり響いた。

また、本定期演奏会では、元札幌交響楽団クラリネット奏者 村松時雄氏、東京古典弦楽合奏団 常任指揮者 崎田俊治氏、中央音楽隊長 武田晃1佐を評価員として、音楽隊の演奏を評価した。

演奏会終了後の総評で、各評価員から「技術は表現の一部であり、表現を指揮者任せにしない」「自分の役割の理解が足りない」など厳しい所見を受け、最後に総監が「評価員からの厳しい所見を頂き諸君らの今後の更なる向上を期待する」との講評に、全隊員が身を引き締めた。

冬季スポーツ大会協力 【大会運営に貢献】



方面音楽隊による開会式での演奏 (冬季アジア大会)



寛仁親王妃信子殿下と総監 (宮様スキー競技会バイアスロン)



大会コースの維持 (びえい宮様スキー国際マラソン)



射撃場勤務 (宮様スキー競技会バイアスロン)



雪上車によるコース整備 (恵庭クロスカントリースキー)



第2音楽隊による演奏 (パーサーロペット・ジャパン)

方面隊隷下各部隊は、冬季アジア札幌大会、宮様スキーバイアスロン大会をはじめ、各地で開催された冬季スポーツ大会において、コースの作成・維持・管理、開閉支援

施設開設・撤収といった大会運営協力及び音楽隊による開会式等での演奏を行った。
2月初旬から暖気が入り、気温の上昇や降雨により、コース作成後の維持補修が難航した大会もあったが、協力に参加した全隊員が一致団結し、大会の開催に間に合わせる事ができた。
冬季スポーツ大会協力

は、厳しい気象条件の中で勤務することが多く、イベントに参加した隊員にとっては、使命感と忍耐力が醸成されるとともに、主催者等関係者からの自衛隊に対する期待の大きさと、参加する選手や地域のボランティアの方々のふれあいを感じ得る貴重な機会となっている。



日高分屯地起工



日高分屯地の前身「厚別弾薬支処」

北の駐屯地 その歩み

第31回 日高分屯地

日高分屯地(司令杉山2佐)は、国道237号線と274号線が交わる日高町日高地区の市街地から、帯広(日勝峠)方向へ約8kmの所に位置する、島松駐屯地の分屯地である。
分屯地が所在する日高町日高地区は、日高山脈の麓に位置し、沙流川の清流と緑豊かな山々に囲

まれた自然豊かな土地であり、「せせらぎ」とも呼ばれる里」と呼ばれている。
夏は冷涼で、冬の降雪量も1m前後と一年を通じて住みやすい。また、スポーツ施設が充実し、国内外から各種スポーツの合宿地としての利用者も多い。
日高町の歴史は、明治



現在の本部隊舎



ひだか樹魂祭

人生に潤いを与える言葉

人生の処方箋の書『葉根譚』は、どのようにしたら一日を大過なく生きることができかに解り易く具体的に語っています。

ただ是れ前念滞らず、後念迎えず、
但だ現在の隨縁を持て、打発し得去れば、
自然に漸々に無に入らん。

(「葉根譚」後集・82)

即ち「ただ、過ぎ去ったこと(前念)を気にせず、また先のこと(後念)を考えてよくよせずに、今日の前に起きていることを次々に片付けて行けば、知らず知らずのうちに自然に無念無相の心境になることができる」というのです。

「原始仏教典」に釈尊の説かれた偈(17)＝詩にこうあります。

“過去を追うな、未来を願うな、
過去はすでに捨てられた。そして未来はまだやって来ない。
ただ今日なすべきことを熱心にせよ”と。

「心を整える」建設的生き方を説いている「森田療法」は、どんなに気分が優れなくても、今ここでできることを行うことが大事であるという。つまり「気分本位」ではなく「行動本位」(事実本位)の生き方を述べています。この「行動本位」の生き方によって、一日一日を大過なく充実した日々を送ることができるとはいえないのでしょうか

心の健康相談 メンタルヘルス・カウンセラー
根本和雄

38年に岩手県人の「目曲久助(めまがりきゆうすけ)」氏が入植したのが始まりで、昭和18年右左府(うさつふ)村から日高村に改称、昭和37年に日高町となった。さらに、平成18年3月に旧日高町と門別町が飛び地合併し、新たに現在の「日高町」が誕生した。

分屯地の沿革は、昭和30年代に札幌市が当時厚別区に所在した「厚別弾薬支処」の移転を国に申請したことに始まり、昭和43年5月から現在地に管理施工工事を開始、昭和44年2月「日高弾薬支処」を新編、その後火薬庫の増設、生活勤務環境の改善を重ね現在に至る。

分屯地の所在部隊は、北海道補給処日高弾薬支処及び第313基地通信中隊日高派遣隊と小規模ではあるが、分屯地司令要望事項「明るく元気に」の下、「ひだか樹魂祭り」への参加、「日高ツイデイズエンデューロ」、「北日高岳大回転スキー大会」に対する運営協力、各種ボランティア活動等を通じ、地元住民との一体感を深めている。

これからも、支援対象部隊に対し真摯溢れる弾薬補給等支援を実施できるよう、分屯地一丸となり努力していく。

平成28年度方面隊オピニオンリーダー

第2回例会

方面隊は、3月11日平成28年度方面隊オピニオンリーダー第2回例会を、札幌市内の部外施設において開催した。今回は、オピニオンリーダー活動の報告会と、総監、幕僚長及びオピニオンリーダーのOB会である、北桜会(会長安田容昌氏)を交えて、記念撮影、意見交換会を行った。



オピニオンリーダー及び北桜会との記念撮影

活動報告会では、オピニオンリーダーとして、一年間の活動を通じて感じたことなど、方面隊に対するご意見・ご要望等が多数寄せられた。特に「自衛隊の任務の厳しさは当然のことであり、それを正しく伝え、それ以上のやりがいがあることをもつと広報すべき」「PKOなど国際的に感謝されていることを講話等で学生に向けて発信して欲しい」など、陸上自衛隊に対する期待を込めた貴重なご意見を伺うことができた。また、意見交換会では札幌雪まつり協力における雪像の制作工程を収録したDVDを上映し、オピニオンリーダーから「DVDを見て来年は是非、制作現場を研修したい」との感想を頂いた。今回頂いた貴重なご意見は、国民・道民の北部方面隊に対する理解がより深められるよう、新年度の隊務運営に反映していきたい。



様々な意見が寄せられた意見交換会

平成29年度自衛官等募集案内



Table with 8 columns: 募集種目, 募集人員, 資格, 受付期間, 試験期日, 合格発表, 入隊時期, 待遇・その他. Rows include 幹部候補生, 医科・歯科幹部, 技術海上幹部, 航空学生, 一般曹候補生, 自衛官候補生, 推薦, 防衛大学校学生, 防衛医科大学校医学科学生, 防衛医科大学校看護学学生, 陸上自衛隊高等工学校生徒, 貸費学生, 予備自衛官補.

(注) 1. ※1: 平成29年度の募集人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。 2. ※2: ①学校教育法に基づく大学において、正規の編入の課程(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者(平成30年3月卒業見込みの者を含む。)、②外国の薬学校を卒業し、又は外国の薬学校を卒業し、又は外国の薬学校を卒業し、4年制薬学課程を修めて卒業した者、厚生労働大臣が①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者、③平成18年度から平成29年度までの間に学校教育法に基づく大学に入学し、4年制薬学課程を修めて卒業し、かつ、学校教育法に基づく大学院において薬学の修士又は博士課程を修了した者であって、厚生労働大臣が、厚生労働省令で定めるところにより、①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者に限ります。 3. ※3: 第1回で採用予定数を採用した場合、第2回は実施しない場合があります。 4. ※4: 平成30年3月高等学校卒業予定者又は中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、平成29年9月16日以降に行います。 5. ※5: 航空自衛隊の3次試験、2次及び最終合格発表は変更する場合があります。 6. ※6: 学部については、理学部、工学部に類する学部も応募資格に該当する場合があります。詳しくは最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせください。 7. 資格欄中の「高卒」は中等教育学校卒業生を含みます。 8. 応募資格年齢の起算日は、募集種目ごと異なっていますので、それぞれの募集要項で確認してください。 9. その他、詳細については、各募集要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。(事務官・技官の採用試験については、防衛省大臣官房秘書課へ) 10. 記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

自衛官募集コールセンター 0120-063792 (年中無休: 12時~20時) 自衛官募集ホームページ http://www.mod.go.jp/gsdf/jie/kankosyu/index.html